

# イギリスのアマチュア無線免許制度 (ショートエディション)

福島誠治 JH6RTO/7L3TDU/M1DKJ/M5AJA/MORAA

s.fukushima@ee.ucl.ac.uk

## 1. 資格の大分類

ノビスとフルの2通りに分けられる。ノビスはさらに2クラスに分かれ、フルは3クラスに分けられる。ノビスとフルの差は、学科試験のレベル差であり、フルあるいはノビスの中の差は CW の有無とスピードの差である。その結果、運用可能な周波数、出力に差が生じる。

## 2. フルクラス

### 2-1 フルクラスの試験

学科試験は Radio Amateur Examination (RAE) と呼ばれ、2科目から構成される。City and Guilds of London Institute が試験を実施し、合格証明書を発給する。RAE の合格だけで、VHF 以上のみ運用できるクラス B の免許申請ができる。従事者免許証と無線局免許状に分かれていないため、失効後再申請に備え RAE の合格証明書は大事に保管しなければならない。

次に、5wpm の CW の送受信試験に合格すればクラス A/B の免許申請ができ、12wpm の CW の送受信試験に合格すればクラス A の免許申請ができる。CW 試験は RSGB 職員が実施するので、アットホームな感じである。CW の合格証明書も RAE と同様大事に保管しなければならない。RSGB は Radio Society of Great Britain で JARL と同種の無線連盟である。

### 2-2 フルクラスの操作範囲

クラス B は CW の試験がないために、30MHz 以下のバンドへのアクセスが許されない。ただ、国際電気通信条約の規定のみが HF 帯へのアクセス除外の根拠であるので、クラス B であっても 30MHz 以上のバンドの CW の送受信も許されている。アジアの一部の国を除いて他のほとんど世界中で、アマチュア無線は包括免許である。もちろんイギリスもそうだ。しかるべき免許を受ければ、免許人の操作範囲内で好きな無線機が使用できる。買ってきたリグ、改造の終えた TNC は、すぐに使用あるいは実験開始できる。

実際の操作範囲は以下の通りである。ただし、クラスによらず全モードで運用できる。

クラス B 30MHz 以上、400W

クラス A/B 30MHz 未満、100W 及び 30MHz 以上、400W

クラス A 全バンド、400W

クラス A/B は 1999 年 7 月に新たに設定されたクラスである。

## 3. ノビスクラス

### 3-1 ノビスクラスの試験

学科は、講習会形式である。RSGB 主催の講習会を受講し、その中で実施される学科試験に合格しなければならない。この試験は、Novice Radio Amateur Radio Examination (NRAE) と呼ばれる。ここまでで、ノビス B の免許申請が可能である。試験だけの受験は出来ない。

CW 試験は、フルクラスと同様の試験だが、5wpm のみがある。5 w p m の中にノビス用とフル用の区別はない。したがって、NRAE と 5wpm の合格で、ノビス A の免許申請ができる。ノビス A が RAE に合格すれば、フル A/B の免許申請が可能になる。

### 3-2 ノビスクラスの操作範囲

ノビスクラスの操作範囲は著しく制限されている。運用は以下の範囲に限られる。電力は全バンドにわたって、入力 16W (正確には 12dBW) あるいは出力 10W である。ノビス A で使用可能な周波数は、1.8, 3.5, 10, 21, 28, 50, 144, 430MHz, 1.2, 10GHz 帯それぞれの一部である。このうち、ノビス B は 50MHz 以上のみが許される。

## 4. アップグレードの手順

下から順に受験すれば次のようにアップグレードすることになる。学科を先に片付けた場合。

NRAE ノビス B 50, 144, 430, 1.2G, 10G のサブバンドで 10W RAE フル B 50MHz 以上の全バンドで 400W 5wpm フル A/B 上記に加え HF 全バンドで 100W 12wpm フル A 全バンドで 400W CW を先に片付ければ、次の順になる。NRAE ノビス B 50, 144, 430, 1.2G, 10G のサブバンドで 10W 5wpm ノビス A 上記に加え 1.9, 3.5, 10, 21, 28 のサブバンドで 10W RAE フル A/B HF 全バンドで 100W と VHF 以上全バンドで

400W12wpm フル A 全バンドで 400W また、別のまとめ方をすれば次のようにも書ける。

学科 NRAE RAE

no code ノビス B フル B

5wpm ----- フル A/B

12wpm ノビス A フル A

アメリカのように下から順に受験するような必要はない。さて、RAE, NRAE, 5wpm, 12wpm の合格証明書で 5 クラスの免許申請して、5 つのコールサインを保持することは明確に合法である。ただし、1 つにつき年間 1 5 ポンドの維持費がかかる。2000 年 1 月のレートで、1 ポンドが約 170 円であった。フル A 保持者であっても、ノビスのコールではノビスの操作範囲でしか運用できない。アップグレード時には、変更手続きで新しいコールサインを得るのではない。過去の免許はそのまま、新しく免許申請するのである。古い、あるいは下の資格の免許は、不要ならば取消し依頼もできるが、失効時に再免許申請しなければいいだけの話である。

## 5. 申請料

各種申請書は無料だが、申請料はかなり高い。免許は 1 年分の料金である。ただし、免許発行の際には新規、更新、住所氏名変更のいずれの場合も最新の法令集が免許に同封されてくる。さらに、期限切れが迫れば、サインするだけの更新書類が送られてくる。住所氏名の変更手数料は不要である。

RAE 失念

5wpm 1 5 ポンド

12wpm 2 0 ポンド

免許 1 5 ポンド

レシプロ許可証 1 5 ポンド

免許発行の主官庁は Radio communications Agency (RA) であるが、実際の申請先は Subscription Services Limited (SSL) であり、免許はここから郵送されてくる。RA は電気通信管理局の無線通信部相当、SSL は JARD 相当である。SSL は 2000 年から Postal Office Customer Management Limited と改称したはずであるが、2000 年 3 月に電話しても SSL を名乗っている。

## 6. コールサイン

クラスと局アドレスでプリフィクスが決まる。現在のプリフィクス M で個人局の場合、次の通りである。

個人局

フル A 同 A/B 同 B ノビス A 同 B

イングランド M0 M5 M1 2E0 2E1

イングランド以外では、プリフィクスが 2 文字になる。ウェールズ MW、スコットランド MM、北アイルランド MI、マン島 MD、ガンジー MU、ジャージー MJ。

クラブ局

クラブ局の数字部分を除いたプリフィクスは、イングランド MX、ウェールズ MC、スコットランド MS、北アイルランド MN、マン島 MT、ガンジー MP、ジャージー MH である。

以上のプリフィクスは局アドレスで決まる。国内の移動運用では、/P (ポータブル) /M (モービル) /MM (海上移動) のアナウンスが義務付けられている。

上空移動は禁止されている。さて、イングランドからスコットランドに移動するような他地区への移動ではコールサインはこう変わる。プリフィクスをその地域のものに置き換え、さらに移動表示の P など後ろのくっつける。ロンドンが局アドレスの私 M0RAA がイングランド内に移動するときは M0RAA/P、イングランド内のモービルシャックであれば M0RAA/M、スコットランドでポータブル運用すれば MM0RAA/P となる。すなわち個人が 7 つのコールサインを消費しているわけである。

年配のプリフィクス G の局は、G0, G3, G4 がフル A で、G7, G8 がフル B のコールである。GM や GW はスコットランドやウェールズの局である。記念局やレピーターには GB のプリフィクスが付与される。また、ミレニアムを記念して、M2000A と M2000Y が許可された。

## 7. CEPT

イギリスの免許を用いて他国で運用することはできるだろうか。ヨーロッパ各国およびその域外から CEPT 勧告 T/R 61-01 に署名した国は、互いにその免許によるホスト国内の運用を認めている。現在そ

れは、アルバニア、オーストリア、ベルギー、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、カナダ、クロアチア、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イスラエル、イタリア、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルグ、モルドバ、モナコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェイ、ペルー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、ロシア、サンマリノ、スロバキア、スロベニア、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、スイス、旧ユーゴ・マケドニア、トルコ、ウクライナ、イギリス、アメリカ、パチカンである。つまり、イギリスの免許人はこれらの国で申請あるいは届出すらすることなく、アマチュア無線をエンジョイできる。移動先での操作範囲は、フル A なら全バンド、フル A/B またはフル B なら 50MHz 帯以上である。CEPT について、ノビスは対象外である。

CEPT は短期旅行者のための制度であり、ポータブル、モービル、ホテル、知人のシャックからの運用しか認められない。居住者として固定シャックから運用するのであれば、しかるべき相互運用協定に基づくホスト国の免許あるいは許可が必要である。

## 8. イギリス固有の話

### 8-1 特殊バンド

イギリスには特徴的なバンドが3つある。フルクラスなら誰でも 70MHz 帯が運用できる。70MHz 帯の最大電力は、22dBW すなわち 158W と定められている。日本の FM ラジオ放送からも想像されるように E スポもかなりの頻度で発生する。フル A なら 137kHz 帯も運用できるが、実効放射電力で 1W に制限されている。アマチュアのアンテナでは大変効率が低いので、送信機から 100W をアンテナに入れても実効放射電力は 1W にならない。さらに、実験局として特別に免許を受ければ 73kHz 帯というものもある。日本にはないバンドとして 3.4GHz 帯というのがあるが、これは日本にないだけであって、ほぼ世界中で認められているアマチュアバンドである。

### 8-2 その他

レピーターについても、その申請は申請書類あるいは RA のホームページで詳細に説明されている。各種申請書類もここから取り出せる。ただし、いくつかの項目、特に FAQ 集や CEPT の T/R 61/01 ではかなり古い法令、あるいはそれに基づく解説が残っている。極端な話としては、CEPT Class 2 では 50MHz の運用は出来ないような解説も残っているが、現在 CEPT Class 2 は署名国内で 30MHz 以上の運用が認められているので、50MHz 帯も運用できる。

文献

<http://www.rsgb.org.uk/>

法令集 BR68

CEPT 勧告 T/R 61-01

RA には上の rsgb のリンクから行ける--

## JARL マイクロウエーブ局名録

マイクロウエーブ愛好者の中で移動運用の連絡や技術情報の問合せ等で大変有用な資料となっている JARL 発行の「マイクロウエーブ局名録」は 2000 年版が完成し、発行されることとなりました。今回は掲載総数個人局で 485 局、クラブ局 47 局と、3、いっそう充実したものとなりました。登録された局には郵送料（160 円切手同封して請求）のみで頒布されますが、一般の方には一部につき 400 円分の切手と郵送料 160 円切手、合計 560 円分の切手を同封して下記へ申し込んで下さい。今後は新規登録は勿論、既登録局の周波数、電波形式、e-mail address 等の登録内容の変更を常時受け付けておりますのでメール、FAX、手紙等で下記までお知らせ願います。但し次年度版の締め切りは 3 月末日ですので出来るだけ早めにお出し願います。

〒170-8073 東京都豊島区巢鴨 1-14-5

(社) 日本アマチュア無線連盟技術研究所

マイクロウエーブ局名録係

FAX:03-5395-5006 e-mail address: lab@jarl.or.jp